

**(公財) 日本ヘルスケア協会から**

発行：日本ヘルスケア協会 事務局

☆この度の能登半島地震で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

さて、今回は12月12日発行のニュースリリースNo.88以降の動きについてご報告いたします。

1. **J A H I**では、**プラネタリーヘルス・イニシアティブ**の設立を記念し、3月にシンポジウムを開催します。

昨年3月開催の第4回年次大会・基調講演(桐村里紗講師)を契機に7月に設立された**プラネタリーヘルス・イニシアティブ(PHI)**は、その後順調に月次会合を重ね、この度、東京・日比谷図書館大ホールを会場に、設立記念シンポジウムを開催する運びとなりました。

「**プラネタリーヘルス**」は、人類を含む地球全体は1つの有機的なシステムであり、密接に繋がっているという考え方を前提に、地球全体の健康とウェルビーイングを目指す最も統合的なヘルスケア概念です。人類が生きるだけで人と地球を壊していく時代から、人類が生きるだけで人と地球が健康に、幸せになる時代へ。日本では、「医食同源」、「身土不二」という言葉が伝えられているように、医療・健康と食、あるいは食と農(土)を一体に捉える考え方が受け継がれてきましたが、本イニシアティブでは、こうした古くて新しい**プラネタリーヘルス**の理念を日本から世界に向けて発信し、その社会実装の推進を宣言します。

3月3日(日)13:00~16:30開催のシンポジウムは3部で構成され、第1部はオープニング「**プラネタリーヘルス・イニシアティブ**の設立について」の後、桐村代表による基調講演「**プラネタリーヘルス**と世界における日本の役割~日本最小の町・江府町から世界へ」、続いて、農地の生物的豊かさの評価の第一人者・横山和成講師(立正大学地球環境科学部特任教授)による特別講演「微生物が奏でるシンフォニー」。

第2部はパネルディスカッション「**プラネタリーヘルス・アクション宣言**」として、第1部の講師に加え、がん患者と向き合いながら医療と食事療法を実践し、腸内細菌にも深い知見を持たれている田中善先生(医療法人仁善会田中クリニック院長)、**J A H I**野菜で健康推進部会の丹羽真清部会長が、地球環境と人の営みに関する碩学・佐藤洋一郎先生(京都府立大学客員教授/ふじのくに地球環境史ミュージアム館長)をファシリテーターに**プラネタリーヘルス**の社会実装の具体策についてディスカッションします。

第3部はリアル参加者による交流・懇親会(会費制)。医療・食品・土壌等、多分野から募集された参加者が名刺交換等、交流・懇親を深めて頂き、今後の**プラネタリーヘルス**推進への期待や抱負を共有して頂く機会といたします。

本シンポジウムの定員はリアル180名(参加費5000円:資料代含む)、WEB参加500名(参加費3000円)。詳しい実施概要は**J A H I**ホームページ(<https://jahi.jp>)をご覧ください。



2. その他

- (1) **J A H I**・生き生きライフ(フレイル対策)部会では、12月1日(金)午後、中野区宮桃町会との共催でフレイル予防セミナー・市民講座「元気な毎日を支える一歩、日常から出来るフレイル予防のヒケツ」(講師:足病医・岡部大地先生)他を中野区桃園区民センターで開催し、100名近い参加者がありました。
- (2) **J A H I**はこの度定時理事会を開催し、新しい理事として明治大学商学部兼任講師の中麻弥美(なかまやみ)氏、新しい評議員として社会福祉法人筑水会理事の今川美明(いまがわよしあき)氏の就任が承認されました。